

# 建通新聞

2013年(平成25年)3月19日(火曜日)

建通

防滑業振興協会(清水雅雄理事長)が中心に取り組んでいる床面や歩道などを滑りにくくする「防滑」の工法が東京都で採用され、都民広場約730平方㍍を対象に施工された(写真)。採用されたのは、同協会が推進している防滑溶剤工法「アクアクリップR」。薬剤で約7~10マイクロ㍍の極細の穴を床材表面に無数に開け、表面張力効果を増加させることで接地面を滑りにくくする。

昨年8月には、国土交通省が、パリアフリーに配慮した建築設計標準を改訂し、滑り抵抗係数(CSR)0・4以上の推奨値を示した。改訂後、全国で滑り抵抗係数の測定や試験施工などを行っている。

今回、防滑工法が採用された工事は、東京都財務局発注の「都庁舎(24階建て)」で、CSRO・5以上を確保した。施工は竹田工務店(新宿区)が担当。

## 都で「防滑」工法を実施

●防滑業振興協会●

